

連絡先：〒160-0023
 東京都新宿区西新宿6-20-9 西新宿VIPROYAL301
 社会保険労務士事務所NKサポート
 電話：03-5322-4505 FAX：03-5322-4503
 e-mail：info@e-606.net

●新卒学生の内定取消し
 全国で556人(8月5日)

厚生労働省は、今春内定を取り消された新卒学生が7月末時点で556人(高校生312人、大学・専門学校生244人)になったと発表した。その内、震災を理由に内定を取り消された人は427人。また、震災を理由に自宅待機や入社日の延期を求められた人が2,472人いた事もわかった。

●厚生年金保険料の滞納
 事業所数が過去最高を更新(8月13日)

厚生労働省は、2010年度に厚生年金保険料を滞納した事業者数が16万2,461に上り、過去最高を更新したと発表した。日本年金機構では、滞納事業所に対して電話や訪問での収納対策を強化していく方針。

●介護施設の5割以上が
 「職員不足」(8月24日)

財団法人介護労働安定センターが2010年度の「介護労働実態調査」を発表し、「職員が不足している」と回答した介護事業所が50.3%(前年度比3.5ポイント増)に上がることがわかった。1年間に辞めた職員の割合を示す離職率は17.8%(同0.8ポイント増)で、3年ぶりに悪化した。

●「非正社員」の割合が過去最高38.7%(8月30日)

厚生労働省が2010年の

「就業形態の多様化に関する総合実態調査」を発表し、民間企業で働く「非正社員」の割合が38.7%(2007年の調査より0.9p増)と過去最高となったことがわかった。内訳はパート22.9%(同0.4p増)、契約社員3.5%(同0.7p増)、派遣社員3.0%(同1.7p減)、嘱託社員2.4%(同0.6p増)など。

9月の税務と労務の手続 [提出先・納付先]

- 10日
 - 源泉徴収税額・住民税特別徴収税額の納付[郵便局または銀行]
 - 雇用保険被保険者資格取得届の提出
 - <前月以降に採用した労働者がいる場合>
 - [公共職業安定所]
 - 労働保険一括有期事業開始届の提出
 - <前月以降に一括有期事業を開始している場合>
 - [労働基準監督署]
- 30日
 - 健保・厚年保険料の納付[郵便局または銀行]

当事務所より一言

震災により、企業や個人等様々な立場において、本来のあり方を見直したり、新たな行動を起こす流れが強くなっているようです。「このままでいいのか」という思考を持っている方も多ですし、実際に行動に移している方も多いと思います。企業だけでなく、個人単位での活動においても良い方向につなげていただきたいと思います。

「昼寝」の効果的活用 で仕事能率アップ

◆睡眠時間の短い「働く日本人」

一般的に、「働く日本人は睡眠時間が短い」と言われています。

以前に味の素株式会社が行った、世界5都市におけるビジネスパーソン「睡眠時間」の長さに関する調査では、次のような結果となっています。

- (1)上海7時間28分
- (2)ストックホルム7時間8分
- (3)パリ6時間55分
- (4)ニューヨーク6時間35分
- (5)東京...5時間59分

◆15分～20分程度の昼寝が有効

最近では多くの企業で「サマータイム制」が導入されるなど、睡眠時間の短さに拍車がかかる状況の中、「昼寝」の効果が見直されています。

独立行政法人労働安全衛生総合研究所が行った調査では、工場勤務者やエンジニアを対象に、昼休みに昼寝(15分間)をした週としなかった週を比較したところ、昼寝をした週は午後の眠気をあまり感じず、その差は週の後半ほど広がったそうです。

同研究所では、時間帯は「午後2時ごろ」、長さは「15～20分程度」(高齢者の場合は30分程度)が最も効果的だと分析しています。

もっとも、午後2時頃に昼寝を取れるような会社は少ないでしょうから、その場合は昼休みを利用して問題ないそうです。

◆効果的な活用を

適度な仮眠には、頭をスッキリとさせる効果があるそうです。暑い夏を乗り切り、仕事の効率を高めるためにも、社員の方にも「昼寝」をお勧めしてみたいかがでしょうか。

ただし、30分以上の仮眠によって深い眠りに入ってしまう、逆に疲労感が残ることもあるそうですので、ご注意ください。

節電対策を契機に自己学習する人が増加

◆増加する「学び族」

節電対策で勤務時間を繰り上げたり、夏休みを長くしたりする企業が多い中、空いた時間を使って自己学習を行う「学び族」が増えているそうです。

震災をきっかけに自分のキャリアを見つめ直す人も多く、働くことへの意識の変化が背景にあるようです。

◆仕事にやりがいを持ちたい!

「勤務時間繰上げ」や「残業禁止」を命じられた働く人が、終業後の時間を習い事や自己研鑽に充てる姿が目につくようになってきました。

習い事の情報誌が、「サマータイム制」などを導入した企業で働く男女(約4,000人)に調査したところ、独学も含めて何かを学び始めた人が18%に達しています。

これまでは「目の前の仕事で一杯」と思っていた人も、「仕事にもっとやりがいを持てるようになりたい」と感じるケースもあるようで、夏休みに短期留学を計画する人もいます。

◆震災をきっかけに仕事を見直し

コンサルティング会社が全国の18～65歳の会社員(約1,000人)に「仕事の目標」を聞いたところ、「社会に貢献する仕事をしたい」と回答した人の割合が、震災前に比べてかなり増えたそうです。また、震災前に比べて「仕事のやる気が上がった」という人も約4割に上っています。

専門家は「震災後の支援の様子を見て、特定のスキルを持つ人の価値を実感した人が多く、特に若い人

の間で知識を磨こうという意欲が高まっている」と指摘しています。

◆時間を視覚化することが秘訣

空いた時間を有効活用するには、「他人との約束だけでなく、自分1人で行う勉強や遊びの予定も含めて手帳に書き込み、時間を視覚化すること」が有効だそうです。

時間と自分の行動を結び付けて考える習慣がつくため、空き時間が明確になり、結果として勉強の計画も立てやすくなるということです。

□■ 最近の動き

□■□■□■□■□■

●国年保険料の追納期間を「2年」から「10年」に延長(8月4日)

国民年金保険料の未納分を過去に遡って追納することのできる期間を、現行の「2年間」から「10年間」に延長する国民年金法改正案が可決・成立した。追納期間延長は3年間の時限措置。その他、加入上限年齢を60歳から65歳に引き上げ、従業員個人の掛金拠出を可能とする確定拠出年金法改正案も成立した。